

## 2008年度 事業計画・予算決定

社会福祉法人サンフレンズの2008年度事業計画案と予算案は、3月23日に開催された評議員会を経て理事会で決定しました。

事業計画は、2008年度に法人がすすめようとしている事業の考え方、方向を示し、予算は、事業計画の達成に必要な収入・支出を見積り、計画的、効率的に事業を運営していくために定めるものです。

紙面に制約があるため、事業計画の重点目標の概要と予算の総括をお知らせいたします。

### 事業計画

#### 法人全体で取り組む重点目標

2006年度は、将来構想委員会を中心に各プロジェクトから法人の今後のあり方について重要な課題が提議されました。法人の理念に立ち戻ることが確認された節目の年でした。

その課題を基に、2007年度はリスク管理、労働環境の改善、人材育成、地域戦略について検討し、整備してきました。

2008年度は2009年からの介護報酬の改正も視野にいれ、経営面の対策を主軸に、これまで検討・整備してきたリスク管理、労働環境の改善、人材育成、地域戦略を踏まえた総合的な法人全体の中長期計画の作成に着手します。

中長期計画作成は2009年度を目標とします。2008年度は現状分析を中心に行い、中長期計画の骨子・骨格を検討します。

介護保険下の厳しい経営環境の中で、長期的に安定した経営を実現し、利用者・家族・ボランティア・地域住民・職員が共に運営し協働していけ

る魅力あるサンフレンズにしていきます。

以下の重点目標の内、業績管理、人員配置、兼務体制、賃金、給与体系の見直しを最重点目標とします。

#### 1. 法人の理念に基づいた具体的なケアの理念と目標を作成します。

法人の理念を実践する上において、利用者・家族・ボランティア・地域住民・職員にとってよりわかりやすいケアの理念と目標を作成します。次世代にも理念を引き継ぎ、理念に立ち戻れる目標にしていきます。

#### 2. 経営・運営についての中長期計画の作成に着手します。

前年度は宮前ふれあいの家の公募の際、新事業への取り組みに対して法人が計画的・戦略的な方針を十分打ち出せませんでした。また特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の借入金の返済が今年度から始まります。施設の老朽化も進み大規模修繕も必要になってきています。2007年度12月から特別養護老人ホーム上井草園の日用品費を一律徴収から個別徴収へ切り替えたため、大幅な減収となっています。経営・運営の安定化を図るために中長期計画の作成に着手します。

#### (1) 業績管理（現状分析）

運営会議及び管理職会議により、毎月の法人全体の業績管理を行い、各事業所の業績実績を分析します。

#### 〔検討事項〕

中長期にわたる適切な財政収支の検討と

計画化

利用率や各加算の現状分析と改善案

## (2) 事業展開を中心とした地域戦略

前年度は地域マップを作成し、法人としての地域戦略の骨格が提案されました。

引き続き以下の案の検討と計画化を進めます。

### [ 検討事項 ]

各通所介護事業に併設・運営されている居宅介護支援事業所を独立させ、居宅介護支援事業所として統合する。

各通所介護事業所の独自性を打ち出す。  
友愛介護センター（訪問介護事業）の拠点を拡大し、杉並西地域にも拠点を据える。

## (3) 広報活動の活性化

サンフレンズは地域への情報発信やPRが十分ではありません。人材募集に限らず、広く地域住民に情報を提供し、地域に貢献していくためにも魅力あるホームページやパンフレット作成に着手します。

今年度は、本部事務局だけでなく担当部門を決め、人材確保に向けてサンフレンズの特徴を出していきます。

### [ 検討事項 ]

ボランティア活動や公開研修などの情報の提供と、ホームページ作成における利用者・家族・ボランティアの参画等の推進

法人、各事業所のパンフレットの見直し

## 3. 職員が働きやすい環境づくり

中長期的に安定した運営と事業展開をしていくために、職員が安定し、働きやすい環境を整えていきます。

### (1) 人員配置、兼務体制、賃金・給与体系の見直し

前年度、「各事業所の人員配置や兼務の見直し」、「非常勤職員の賃金を決定するための基準」、「常勤職員の手当」について検討した結果、以

下の報告がありました。

管理・監督職の兼務廃止や介護支援専門員の専任化により、適時の業務改善や組織の活性化が見込まれる。

その結果として超過勤務の減少や有給休暇取得率の向上につながる。

生活保障を基礎にモチベーションが高まる給与体系が必要である。

介護支援専門員の専任化を今年度から一事業所増やします。

### [ 検討事項 ]

安定した財政収支と一体となった賃金、人員配置基準・体制等の構築

## (2) メンタルヘルス研修と相談体制

職員が心身ともに健康で、働きやすい環境は利用者への質の良いサービスに繋がります。全職員へのメンタルヘルス研修を年間継続的、計画的に実施します。各事業所での研修も組み込み、職場で気軽に専門家に相談できる体制にしていきます。法人の全職員が自己をみつめ、互いを理解し、豊かな人間関係を構築していく研修にしていきます。

## 4. リスクマネジメント体制の整備

人権擁護の中核となる、オンブズマンシステムを見直し、活性化していきます。

組織が大きくなればリスクも増大しますが、その組織の力を最大限生かし、各事業所が共に危機管理意識を持続させていきます。

リスクの予測をし、持続的な管理体制づくりをしていきます。感染症のリスクについても対策を強化します。

### (1) オンブズマン活動

前年度見直しをした法人オンブズマンのシステムを機能させていきます。利用者・家族の声にならない声を拾っていき、その人らしさを尊重する体制を着実に整えていきます。

### (2) サービス管理（苦情・要望等への対応）

苦情・要望については、各事業所共通のもの、度重なるもの、リスクが予測されるものに対し

て法人全体が問題を共有し、検討し、早急に対策がとれる体制にしていきます。

### (3) 事故対策

事故発生の情報は迅速に明確に伝え、法人全体で検討の上、対応していきます。

老朽化した設備の点検と、早めの修理、修繕と新規購入を行い、事故を予防していきます。

### (4) 防災

今年度より、法人の特別養護老人ホームが杉並区の震災時等の福祉救援所になります。杉並区との地域防災協定とともに、法人全体の災害・緊急時マニュアルの定期的見直しを図ります。各事業所の防災訓練の実施状況の確認と情報交換を行いながら、危機管理意識を向上させていきます。

### (5) 感染症

感染症対策委員会を中心に年間を通しての研修を実施します。各事業所間の感染症対策についての情報交換、連携も進めます。

## 5. 人材確保と人材育成

社会的に深刻な人材不足、慢性的職員不足の現状があります。老人福祉施設団体との積極的な請願活動をするとともに、法人自体の人材確保のための工夫をしていきます。

### (1) 人材確保

前年度、以下の事項が提案されましたので、取り組んでいきます。

社会福祉士の積極的受け入れ

気軽に施設見学できるツアーの開催

就職活動している人の心をつかむ求人票の工夫

### (2) 人材育成・研修

今年度は法人全体が取り組む事項として、「人権擁護」、「個人情報保護」、「認知症ケア」等全職員対象の研修を充実させます。地域の方にも参加を呼びかけます。

2年目以降の現任研修においては「後輩育成の手法」、主任・副主任研修においては「人材育成にどう取り組むか」等の研修を実施し、組

織全体が互いの成長を支援していく体制にしていきます。

今後の教育・研修の強化のために、研修担当チームを配置します。

### [ 検討事項 ]

ホームヘルパーの育成と人材確保

## 6. 地域との協働

### (1) ボランティア受け入れ態勢の強化

前年度から設置したボランティアコーディネーターの専門性の強化

サンフレンズ上井草を中心にしたコーディネーターは成果を挙げ、着実に人と人との関係を深め、ボランティアが活動しやすい環境になってきています。

今年度は各事業所のボランティア担当も含め、研修等によりボランティアコーディネーターの専門性を強化していきます。

法人のボランティア・実習生の受け入れ基本方針の策定

地域に根ざす、地域とともに歩む法人として、前年度からボランティア・実習生の受け入れ態勢について検討しています。今年度の上半期には受け入れの基本方針を策定します。

### [ 検討事項 ]

ボランティア受け入れ態勢の確立

各事業所のボランティア受け入れ態勢の標準化、基本方針の全職員への徹底、オリエンテーションマニュアルの作成、研修、広報、ボランティア懇談会、リスク管理等の検討と実践計画

### (2) 後援会との連携

後援会の方に法人主催の講座や学習会に参加していただき、法人との相互理解を深めます。今年度は年2回実施します。

# 2008年度 予算

## 1. 収入の部

(単位:千円)

大区 分科 目	中区分科目	2008年度予算	2007年度予算	差異
<b>経常活動による収入</b>				
1.	介護福祉施設介護料収入	364,693	307,368	57,325
	1. 介護報酬収入(施設)	330,314	278,736	51,578
	2. 利用者負担金収入(施設)	34,379	28,632	5,747
2.	居宅介護料収入	714,673	690,191	24,482
	(介護報酬収入)	642,012	619,954	22,058
	1. 介護報酬収入(居宅)	593,507	572,454	21,053
	2. 介護予防報酬収入(居宅)	48,505	47,500	1,005
	(利用者負担金収入)	72,661	70,237	2,424
	1. 介護負担金収入(居宅)	67,327	64,942	2,385
	2. 介護予防負担金収入(居宅)	5,334	5,295	39
3.	居宅介護支援介護料収入	67,781	63,865	3,916
	1. 居宅介護支援介護料収入	56,581	52,665	3,916
	2. 介護予防支援介護料収入	11,200	11,200	0
4.	利用者等利用料収入	181,066	161,376	19,690
	1. 介護福祉施設利用料収入	8,797	14,187	-5,390
	2. 居宅介護サービス利用料収入	21,392	23,243	-1,851
	3. 食費収入	115,127	100,936	14,191
	4. 居住費収入	35,750	23,010	12,740
	5. 管理費収入	0	0	0
	6. その他の利用料収入	0	0	0
5.	その他の事業収入	154,336	137,540	16,796
	1. 補助金収入	11,118	7,522	3,596
	2. 受託収入	143,218	130,018	13,200
6.	その他の収入	0	0	0
7.	寄付金収入	1,000	1,560	-560
8.	借入利息補助金収入	2,736	2,606	130
9.	受取利息配当金収入	700	865	-165
10.	事業外収入	8,858	8,788	70
	1. 受入研修費収入	2,224	2,314	-90
	2. 職員等給食費収入	6,634	6,474	160
11.	雑収入	300	348	-48
	経常活動による収入計(1)	1,496,143	1,374,507	121,636
<b>施設整備による収入</b>				
1.	設備資金借入金収入	0	116,000	-116,000
2.	施設整備等補助金収入	0	71,913	-71,913
3.	施設整備等寄付金収入	0	0	0
4.	固定資産売却収入	0	0	0
	1. 器具備品売却収入	0	0	0
	2. 車両運搬具売却収入	0	0	0
	施設整備による収入計(2)	0	187,913	-187,913
<b>財務活動による収入</b>				
1.	長期運営資金借入金収入	0	0	0
2.	投資有価証券売却収入	0	0	0
3.	設備資金借入金元金償還補助収入	0	0	0
4.	設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
5.	長期運営資金借入金償還寄付金収入	0	0	0
6.	積立預金取崩収入	0	0	0
	1. 移行時特別積立預金取崩収入	0	0	0
	2. その他の固定資産積立預金取崩収入	0	0	0
7.	他会計区分繰入金収入	0	0	0
8.	会計区分外繰入金収入	0	5,000	-5,000
	財務活動による収入計(3)	0	5,000	-5,000
	当期末収入合計(4)=(1)+(2)+(3))	1,496,143	1,567,420	-71,277

## 2. 支出の部

(単位:千円)

大区 分科 目	中区 分科 目	小区分科目	2008年度予算	2007年度予算	差異
經常活動による支出					
1. 人件費支出			942,253	867,695	74,558
	1.	役員報酬	750	572	178
	2.	職員俸給	363,779	321,313	42,466
	3.	職員諸手当	162,289	145,680	16,609
	4.	非常勤職員給与	314,355	307,038	7,317
	5.	退職金	0	2,032	-2,032
	6.	退職共済掛金	18,156	14,248	3,908
	7.	法定福利費	82,924	76,812	6,112
2. 経費支出			499,282	491,390	7,892
(直接介護支出)			210,092	196,647	13,445
	1.	給食材料費	101,750	96,443	5,307
	2.	介護用品費	11,741	9,712	2,029
	3.	教養娯楽費	6,940	5,677	1,263
	4.	医薬品費	1,881	1,767	114
	5.	日用品費	2,880	2,055	825
	6.	被服費	8,798	8,364	434
	7.	消耗器具備品費	8,812	9,540	-728
	8.	保健衛生費	7,302	6,310	992
	9.	車両費	7,312	7,200	112
	10.	光熱水費	51,863	48,766	3,097
	11.	協力員活動費	813	813	0
(一般管理支出)			289,190	294,743	-5,554
	1.	福利厚生費	3,205	3,052	153
	2.	旅費交通費	2,593	2,343	250
	3.	研修費	2,888	1,852	1,036
	4.	通信運搬費	8,145	7,868	277
	5.	事務消耗品費	8,462	7,994	468
	6.	印刷製本費	3,565	3,453	112
	7.	広報費	3,596	4,096	-500
	8.	会議費	155	150	5
	9.	修繕費	15,000	9,420	5,580
	10.	保守料	5,193	5,082	111
	11.	賃借料	20,304	19,537	767
	12.	保険料	10,254	8,909	1,345
	13.	渉外費	645	590	55
	14.	諸会費	1,288	1,243	45
	15.	租税公課	800	2,447	-1,647
	16.	委託費	197,490	211,520	-14,030
	18.	雑費	5,609	5,187	422
3. 利用者負担軽減額			194	200	-6
4. 徴収不能額			0	0	0
5. 借入金利息支出			9,731	12,855	-3,124
6. 事業外支出			6,560	6,560	0
	1.	職員等給食費	6,560	6,560	0
	2.	その他の事業外支出	0	0	0
7. 雑支出			0	0	0
經常活動による支出計(5)			1,458,020	1,378,700	79,320
施設整備等による支出					
1. 固定資産取得支出			14,300	235,680	-221,380
	1.	土地取得支出	0	0	0
	2.	建物取得支出	1,500	2,917	-1,417
	3.	器具及び備品取得支出	12,800	27,777	-14,977
	4.	車両運搬具取得支出	0	7,425	-7,425
	5.	その他の固定資産取得支出	0	197,561	-197,561
2. 固定資産除却・廃棄支出			0	0	0
施設整備等による支出計(6)			14,300	235,680	-221,380
財務活動による支出					
1. 設備資金借入金元金償還金支出			23,860	0	23,860
2. 長期運営資金借入金元金償還金支出			0	0	0
3. 他会計区分繰入金支出			0	0	0
4. 会計区分外繰入金支出			0	5,000	-5,000
財務活動による支出計(7)			23,860	5,000	18,860
經常活動資金収支差額((8)=(1)-(5))			38,124	-4,193	42,317
施設整備等資金収支差額((9)=(2)-(6))			-14,300	-47,767	33,467
財務活動資金収支差額((10)=(3)-(7))			-23,860	0	-23,860
予備費(11)			2,704	2,704	0
当期資金収支差額合計((12)=(8)+(9)+(10)-(11))			-2,741	-54,664	51,924
前期末支払資金残高(13)			607,910	667,541	-59,631
当期末支払資金残高(14=(12)+(13))			605,170	612,877	-7,708

# 開設して8ヶ月のサンフレンズ善福寺です！

サンフレンズ善福寺が2007年8月1日に開設してから8ヶ月、ご利用者のおおらかさと笑顔に支えられ、職員一同「無我夢中」で頑張ってきました。

やっと地に足がついてきたようで、サンフレンズ善福寺の特色や特徴が徐々にあらわれてきました。そんなサンフレンズ善福寺の生活風景をお届けします。

ご利用者にとって、サンフレンズ善福寺は『施設』ではなく、毎日楽しく過ごす『我が家』となってきました。私たちは利用者一人ひとりの『個』を大切にしています。

ご利用者の部屋には、慣れ親しんだ家具等を持ち込み、ご本人の好みに合わせて自由に配置しています。これまでの生活習慣を大切にする事で、



その人らしい生活を送っていただいています。また、同室の方がいないため、気兼ねすることなく、

のんびりと自分の時間を過ごしていただいています。

ある日、ひ孫さんが面会に来られ、リビングで2人、長い間塗り絵を楽しんでいらっしゃいました。サンフレンズ



善福寺には、ご利用者と一日ゆったりと過ごされるご家族が多くいらっしゃいます。

また、リビングには大型のテレビもあります。

食後は他のご利用者とテレビを見たり、おしゃべりに花が咲くという場面も見られます。

少人数で活動も自由、友達が出来やすいというのもユニットスタイルの特徴の一つです。



ご利用者のお誕生日に、みんなでケーキを作ってお祝いしました。おめでとうございます。



ある時は、ドライバー。ある時は、講師。職員も特技をいかします。

好きなとき、好きな場所で好きな人と過ごす。時には一人で、時には大勢で・・・

ご利用者にはそんな当たり前の生活を送っていただきたいと願っています。

『アットホームな雰囲気』と『利用者の尊厳』を大切にしているサンフレンズ善福寺、今後も自分らしくいきいきと生活をしていただけるよう、取り組んでまいります。

皆様も是非一度遊びにいらして下さい。

ご利用者とともに、お待ちしております。



# 真空調理・クックチルの調理方法の特色！

杉並区の特別養護老人ホームとしては初の全室個室のユニットスタイルで注目をいただいているサンフレンズ善福寺ですが、厨房でも新しいシステムを導入いたしました。それが、『真空調理』であり『クックチル』と呼ばれる調理方法です。

## クックチルとは

料理の保存方法の一種で、加熱調理した食品を急速冷却し、チルド状態(0～3℃で凍結しない程度)で低温保存します。そして、必要時に必要な量だけ再加熱するので、利用者一人ひとりに合ったおいしい食事を提供することができるシステムです。

## 真空調理とは

袋の中に、生の食材(肉、魚、野菜等)および調味料を加え、真空パックして加熱をコントロールすることで、素材の味を引きだし、柔らかくしっかり味付けができます。また、加熱後の二次汚染を防ぐことが出来る調理方法です。このように、サンフレンズ善福寺では、この2つの調理方法を主として、ご利用者にお食事を作っています。

## 真空調理・クックチルの調理過程



食材の下処理をします。

袋に食材、調味料を入れます。



食材の入った袋は、真空包装機を使用して真空状態にします。



食材の中心温度 75℃以上で1分以上加熱をします。  
加熱調理後、ただちに急速冷却を行い、90分以内に中心温度を0～3℃に下げます。  
食材をチルド保存(0～3℃)します。  
チルド保存した食材を、食事提供時に、湯煎器で再加熱します。  
大皿に盛りつけ、各ユニットへ運びます。  
その後、ご利用者の小皿に盛りつけます。



ご飯とお味噌汁は、各ユニットで用意しています。今日のお味噌汁の具は・・・何にしようかな？

## 厨房より今後の抱負

厨房では、新しい調理法のメリットを生かせるメニューづくりに毎日取り組んでいます。真空調理は食材の風味や旨味を閉じ込め、味の均一化を図ることができます。調味料が素材によくしみ込むので、特に煮物等には最適です。また、煮崩れが起こりにくいというえ、歯ぐきでも噛めるほどの柔らかさになるので、ご利用者の方にも好評です。

これからも、目でも楽しめ、食べて美味しい食事づくりを目指し、厨房一丸となって頑張ります。



法人への寄付金および物品等をいただき厚く御礼を申し上げます。

(2008年1月1日から2月29日までにご寄付をいただいた順に掲載)

(1)寄付金 相良宗夫様・礼子様、朝倉美江様、飯田鉄三郎様・朋子様、芥藤徹男様・八重様 匿名希望3名

(2)物品等 大澤敏之様、原吟子様、宮澤昌文様、松尾廣高様 匿名希望8名

## ボランティア紹介

素晴らしい音の世界に  
ようこそ！！

シャンソンを歌わせたならプロ並みの  
高橋 勅子(タカハシキコ)さん

今回は、特別養護老人ホーム上井草園で音楽リハビリのボランティアをしている高橋勅子さんをご紹介します。と言っても、いつものように職員が高橋さんをご紹介しますのではなく、高橋さん自ら上井草園とのかかわりを綴っていただきました。

私は毎週月曜日と金曜日の週2回音楽リハビリのボランティアをしています。私と上井草園との出会いは、今から8年前になります。

1999年3月、名古屋での5年間の生活を経て、懐かしい我が家に帰ってきました。そこで、驚いたことがあります。以前は空き地だった場所が立派な施設『上井草園』となっていたのです。偶然にも私の知人の奥様が、サンフレンズの岡本理事であることを知り、それから上井草園でのボランティア活動が始まりました。音楽リハビリの花井先生やご利用者、ボランティア仲間から教わることは、実に多岐にわたり、とても感謝しています。上井草園ではいつも有意義な時間を過ごしています。

## 第28回



今後も皆様に『愛されるボランティア』を目指し歩んで参ります。どうぞ、よろしく願いいたします。

高橋さん、ありがとうございました。ボランティア仲間からは「高橋さんの唄うシャンソンは、プロの歌声かと思うほど透き通って毎回聴き入ってしまいます」という声も届いています。

高橋さんは脳の老化を防ぐため、現在、通信大学でフランス語を学んでいるとのこと。このほかにも『旅行』や『料理』などたくさんの趣味をお持ちのようです。

今後も、幅広い活動で上井草園をご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

サンフレンズだより・ホームページへの  
ご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話:3394-9833

FAX:3394-9834

担当:坂本・星

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E mail アドレス

Kamiigusa@3friends.or.jp